



令和4年4月26日

<同時資料提供先>

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

令和4年度 第1回 官民連携基盤整備推進調査費の配分

～民間と自治体が連携して取り組むインフラ施設の調査・検討を支援～

国土交通省は、「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（官民連携基盤整備推進調査費）」の令和4年度 第1回配分として、別添1のとおり、地方公共団体が実施する20件の調査（道路・河川・都市公園・市街地整備）の支援を決定しました。

中国地方整備局管内では、以下の3件への支援が決定されましたのでお知らせします。

- 広島市都心部における「平和の都心回廊」を形成するための基盤整備検討調査
（広島県広島市）
- 安芸太田町における観光拠点形成のための道の駅再編基盤整備検討調査
あき おおたちょう
（広島県安芸太田町）
- あるかぼ一と地区における回遊性向上のための基盤整備検討調査 しものせきし
（山口県下関市）

本事業は、官民連携による広域的な地域戦略に資する社会基盤整備を推進するため、民間の設備投資等と一体的に実施する基盤整備の事業化検討を支援するための制度です。

（配分先：地方公共団体、補助率：1/2）

【添付資料】

- ・別添1 令和4年度第1回実施事業一覧
- ・別添2 令和4年度第1回実施事業概要（調査計画書（案）の概要）
- ・別添3 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

【その他】

- ・募集情報や過去の実施例等は以下をご覧ください。

国土交通省 HP「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」

<http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局

広域計画課

☎（082）－221－9231（代表）（平日昼間）

課長 くわじま 桑嶋 ひろし 弘志 （内線 3211）

課長補佐 いまだ 今田 おさむ 修 （内線 3212）

令和4年度 官民連携基盤整備推進調査費 第1回事業実施一覧

別添1

調査名		実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
					事業費	国費
1	岩手県における東日本大震災津波復興かわまちづくり基盤整備検討調査	岩手県	岩手県陸前高田市	岩手県の復興の象徴の場である高田松原津波復興祈念公園等と一体となって復興かわまちづくりが進められてきた気仙山及び川原川（古川沼）の水辺空間において、復興祈念公園の全面オープニング等により今後観光客の増加が見込まれることから、民間事業者による水辺空間を活用した散策ツアーや物販イベント実施に向けた取組と合わせて、観光客の安全で快適な周遊に資する護岸や通路等の整備に係る概略設計等を行う。	30,000	15,000
2	東根市における道の駅整備による広域交流拠点形成のための基盤整備検討調査	東根市	山形県東根市	仙台市から山形県北部への主要経路に位置する大森山周辺地区において、休憩施設の不足を解消し、周辺既存施設との一体的な利活用を図るため、民間事業者による観光イベントの開催や地元産定食の開発と合わせて、新設する道の駅の概略設計やPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	16,600	8,300
3	JR湯本駅周辺地区における常盤地区市街地再生のための基盤整備検討調査	いわき市	福島県いわき市	いわき市の観光拠点と交通結節点の要衝であるJR湯本駅周辺地区において、居心地のよい駅前空間の創出、温泉街における回遊性の向上による市街地再生を図るため、民間事業者によるイベント開催やショップ整備等と合わせて、駅前広場、緑地・公園、道路を整備するとともに、官民連携による交流拠点整備を計画しており、それら施設の概略検討及び交流拠点の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,400	10,200
4	那珂IC周辺地域における複合型交流拠点施設「道の駅」整備検討調査	那珂市	茨城県那珂市	茨城県北地域へのアクセスの動線上に位置し、県北地域の「観光の玄関口」としての役割が期待されている常磐自動車道那珂インターチェンジの周辺地域において、広域交流拠点の不足を解消し、観光目的の来訪者を地域経済活性化につなげる拠点整備を実現するため、民間事業者によるMaaSの交通結節点の整備等と合わせて、道の駅の概略設計や道の駅の整備・管理運営に係るPPP/PFIの導入可能性検討等を行う。	34,600	17,300
5	大垣公園における地域活性化拠点形成のための基盤整備検討調査	大垣市	岐阜県大垣市	大垣藩十万石を象徴する大垣城が存在する大垣公園において、公園内にあって老朽化した大垣城ホールの改築を計画しており、中心市街地にある都市公園の強みを活かした地域活性化を図るため、民間事業者によるイベント開催や収益施設の整備等に合わせ、公園施設の再整備及び大垣城ホールの改築に係る需要調査、概略設計及び整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	24,000	12,000
6	J R瑞浪駅周辺における魅力あるまちづくりのための基盤整備検討調査	瑞浪市	岐阜県瑞浪市	瑞浪市の中心市街地であり、鉄道とバス等の交通結節点であるJR瑞浪駅周辺地区において、フラッシュ時における混雑解消・安全性向上を図り、にぎわいを生む歩行者滞在空間を創出するため、民間事業者による市街地再開発事業やイベントの開催と合わせて、駅前広場及び交差点の交通量調査や概略設計等を行う。	17,000	8,500
7	大津湖畔なぎさ公園におけるにぎわい拠点形成に向けた基盤整備検討調査	大津市	滋賀県大津市	琵琶湖沿岸に位置する大津湖畔なぎさ公園において、公園のポテンシャルを最大化し魅力向上を図るため、民間事業者による便益施設の設置や湖上イベントの開催と合わせて、公園の再整備にかかる概略設計等を行う。	40,000	20,000
8	西京極総合運動公園スポーツ施設改修による広域交流拠点形成のための基盤整備検討調査	京都市	京都府京都市	京都府内随一の広域・基幹的施設として各種大規模スポーツ大会が開催されている西京極総合運動公園において、老朽化するプール・野球場の機能確保に合わせ、施設利用者及び地域住民の利便性向上や公園に拠点とした地域の活性化を図るため、民間事業者によるイベント開催や収益施設の整備等に合わせ、プール・野球場の改修に係る現状調査、概略検討及び改修及び公園全体の管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,000	10,000
9	木津川市における『にぎわい拠点整備』のための基盤整備検討調査	木津川市	京都府木津川市	日本遺産である「日本茶800年の歴史散歩」の文化的景観を有する京都府山城地域に位置し、国道163号バイパスと国道24号城陽井手木津川バイパス（事業中）が交差する当該箇所において、観光・産業の集積拠点を整備し、交流人口の増加や地域の活性化を実現するため、民間事業者による観光イベント等の開催に向けた取組と合わせて、にぎわい拠点・アクセス道路の整備に係る需要予測、基礎調査及び概略設計を行うとともに、同拠点の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	20,000	10,000
10	中百舌鳥駅周辺の活性化を図る駅前空間創出のための基盤整備検討調査	堺市	大阪府堺市	大阪メトロ御堂筋線や南海電気鉄道高野線等の交通結節点である中百舌鳥駅周辺において、乗り継ぎ改善や都市拠点にふさわしい賑わいと活力を感ぜられる駅前空間の創出を図るため、駅前広場再編、民間事業者によるイベント開催や公益的施設整備を計画しており、その駅前広場整備に必要な基礎データ収集や概略設計等を行う。	26,200	13,100
11	岸和田市内における公園再整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	岸和田市	大阪府岸和田市	年間約16万人以上が来園する中央公園や多くの観光客が来訪する千亀利公園はじめとする岸和田市内の公園において、地域の活動の拠点となる公園を既存ストックとして活用し地域活性化を図るため、民間事業者によるイベント開催や収益施設整備に合わせて、市内公園の再整備に係る概略設計や公園施設の機能集約に係る整備効果検討を行うとともに公園の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	30,000	15,000
12	守口市核周辺におけるにぎわい交流創出に向けた基盤整備検討調査	守口市	大阪府守口市	守口市の玄関口である京阪守口市駅において、にぎわいと市民が交流する場を創出するため、民間事業者によるダンススタジオの設置・運営及び地域団体等によるイベントの企画・開催に合わせて、にぎわい交流施設として新たなホール及び体育施設（アリーナ）整備に係る配置計画、概略設計を行うとともに民間活力を活用するためPPP/PFI導入可能性調査等を行う。	29,600	14,800
13	姫路市における新たな道の駅の整備による地域活性化のための基盤整備検討調査	姫路市	兵庫県姫路市	播但連絡道路花田ICに近接する姫路市東部において、自動車で立ち寄れる休憩施設や観光拠点施設の不足を解消するため、民間事業者による高速バス・路線バスの乗り入れやマルシェの開催と合わせて、新設する道の駅の概略設計やPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	42,400	21,200
14	西明石駅周辺地区における地域活性化のための基盤整備検討調査	明石市	兵庫県明石市	山陽新幹線とJR山陽本線が交差する西明石駅周辺地区において、住民交流の活性化を図るため、民間事業者による改札口の新設や宅地の開発と合わせて、公共施設・地域交流拠点施設の概略設計及びPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	22,400	11,200
15	鶴野地区における新たな道の駅等整備による地域振興拠点形成のための基盤整備検討調査	加西市	兵庫県加西市	国道372号に近接し多くの産業施設が集積する一方、歴史遺産群（鶴野飛行場跡地周辺の防空壕、機銃座、滑走路等）を有し、近年観光客が急増している鶴野地区において、地域活性化と持続可能なまちづくりを一体的に進め、増加する観光客等に地域の魅力を効果的に発信できる施設等を整備していくため、民間事業者による観光ツアーや環境配慮型観光モビリティ事業実施に向けた取組と合わせて、道の駅の概略設計や道の駅の整備・管理運営に係るPPP/PFIの導入可能性検討等を行う。	16,000	8,000
16	広島市都心部における「平和の都心回廊」を形成するための基盤整備検討調査	広島市	広島県広島市	平和記念公園の南側に位置する平和大通りにおいて、魅力ある空間を創出し、都心の回遊を促す「平和の都心回廊」を形成するため、Park-PFIを活用した民間事業者による公園整備や収益施設整備等に合わせた平和大通りの公園整備に係る基礎調査、概略設計等を行う。	25,800	12,900
17	安芸太田町における観光拠点形成のための道の駅再編基盤整備検討調査	安芸太田町	広島県安芸太田町	国の特別名勝『三段峡』等の観光資源を有し、中国自動車道を介して山陽自動車道や浜田自動車道、岡山自動車道と接続し広島県内外からのアクセスが良好な安芸太田町の戸河内IC周辺地域において、乗客施設が散在しかつ道路で分断されているIC直近の道の駅（来夢とこうろ）を町全体の活性化に寄与する新たな観光・産業振興の拠点として再整備するため、民間事業者による地域通産者を活用した観光客等の消費促進に係る取組等と合わせて、道の駅の再整備に係る概略設計や道の駅の再整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	25,000	12,500
18	あるかぼーと地区における回遊性向上のための基盤整備検討調査	下関市	山口県下関市	関門海峡を臨むウォーターフロントエリアに位置するあるかぼーと地区において、各交流拠点間の人流動線を確認し、来訪者の回遊性向上を図るため、民間事業者による新たな交通システムの導入、賑わい施設の整備等に合わせ、遊歩道整備に係る基礎データ収集、需要調査、概略設計及び新たな交通システム導入に必要なステーション施設整備に係る整備効果検討、概略設計を行うとともにステーション施設等の整備・運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	27,200	13,600

令和4年度 官民連携基盤整備推進調査費 第1回事業実施一覧

別添1

調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
				事業費	国費
19「大川の駅」(道の駅と川の駅)整備による広域的産業・観光振興拠点形成のための基盤整備検討調査	大川市	福岡県大川市	有明海沿岸道路大野島ICに近接する大川市南西部において、大川市が単なる通過点とならないように、魅力ある目的地としての拠点整備を実施するため、民間事業者によるカフェ・レストランの運営やものづくり・食のイベントの開催と合わせて、新設する道の駅の概略設計や整備効果の検討、PPP/PFI導入可能性検討等を行う。	27,000	13,500
20坪井川緑地における地域活性化のための基盤整備検討調査	熊本市	熊本県熊本市	熊本市中心部近傍に位置し交通アクセスが良く、近年、民間事業者からも利活用の要望が高まっている坪井川緑地において、必要な駐車場等の施設の不足や、ニュースポーツ施設の整備等のニーズに対応し、公園の魅力向上等を図り、かつ維持管理運営を効率化するため、民間事業者によるイベント等の開催や鉄道・路線バスの利用促進に資する広報等への取組と合わせて、公園の再整備・拡張等に係る概略設計や公園の再整備・拡張及び管理運営に係るPPP/PFIの導入可能性検討等を行う。	16,000	8,000
計20箇所				510,200	255,100

広島市都心部における「平和の都心回廊」を形成するための基盤整備検討調査 別添2

地域の特徴等

- 平和大通りは、平和記念公園の南側に位置する延長約4km、標準幅員100mの幹線道路
- 戦後、県内の市町村からの樹木の提供や、国内外からの寄付により数多くの樹木が植えられ、緑豊かな空間を形成
- ゴールデンウィーク中に行われるイベントの中でも最大級の動員を誇る「フラワーフェスティバル」や広島冬の風物詩の「ドリミネーション」などの会場としても使用
- 都心の回遊を促す「平和の都心回廊」の形成に向けて、Park-PFI制度の活用などにより、魅力と価値のある空間の創出を目指している。

ひろしまけんひろしまし

【調査箇所：広島県広島市】

位置図



(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・原爆ドーム、平和記念公園以外の観光資源を十分に活用できていない
- ・都心を活性化するため、「ひろしま都心活性化プラン」を策定（平成29年3月）
- ・平和大通りの将来像を実現するため、「平和大通りの利活用のための基本計画」を策定（令和4年3月）

(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・ヒルトンがホテルを開業（令和4年度～）
- ・エヌ・ティ・ティ都市開発（株）等による旧広島市民球場跡地整備（令和4年度～）
- ・エヌ・ティ・ティ都市開発（株）等による中央公園広場エリアへのにぎわい施設整備（令和6年度～）
- ・Park-PFI事業者による広島城三の丸にぎわい施設整備（令和6年度～）
- ・Park-PFI事業者による平和大通りの公園・収益施設整備（令和8年度～）

密接な
関連性

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

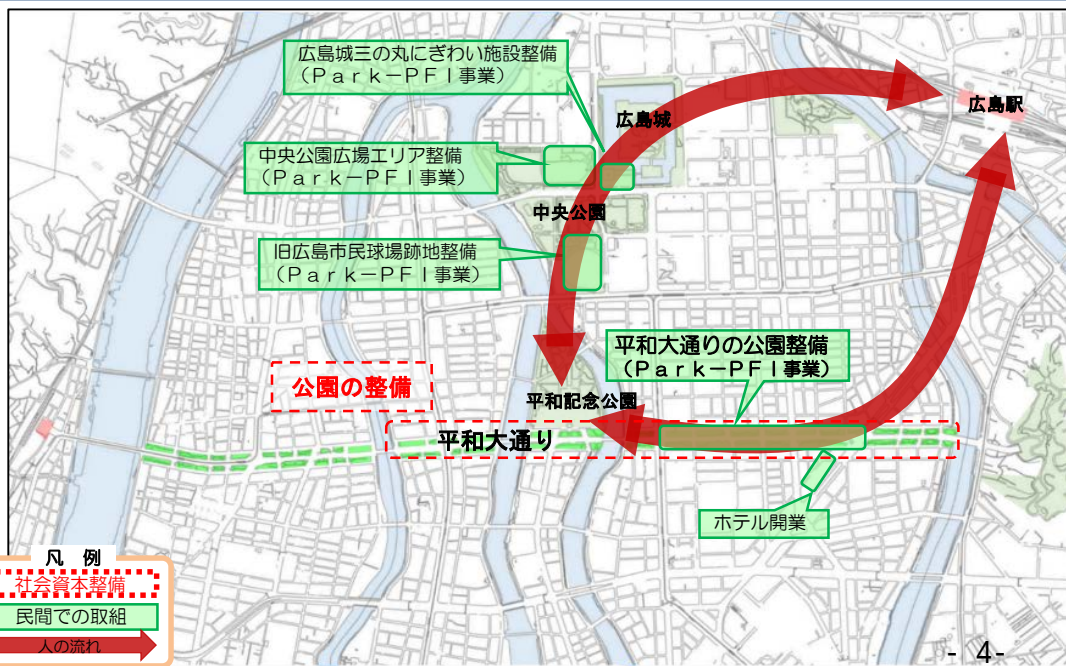
- 緑地や園路の段差等による通行不良箇所の解消。
- 夜間の通行時の安心安全の確保。
- 都心の回遊を促すための魅力ある空間の創出。

(4) 【調査内容】

- ① 平和大通りの公園整備に係る基礎調査
- ② 平和大通りの公園整備に係る概略設計

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・隣接する平和記念公園から公園への観光客の流入が増加
- ・公園利用者の滞在時間の延長、それに伴う観光消費額の増加



安芸太田町における観光拠点形成のための道の駅再編基盤整備検討調査

別添 2

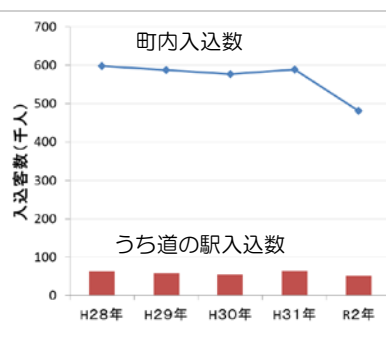
地域の特徴等

- 安芸太田町は、国の特別名勝『三段峡』や、スキー場を有する県内最高峰の恐羅漢山など、豊かな自然環境に恵まれた地域であり、自然を舞台とした体験や森林セラピーなど、都市部では味わえないアウトドアの場として人気がある。
- 安芸太田町には、2つのインターチェンジがあり、中国自動車道を介して山陽自動車道や浜田自動車道、岡山自動車道といった主要道路との良好なアクセスにより広島県内外から訪れやすい場所に位置するものの、点在する町内観光地の連携不足により観光客の滞在時間が伸びず消費が増えないことが課題となっている。
- 戸河内IC直近にある道の駅「来夢とごうち」は、町の玄関口にありながら施設の老朽化（建設後27年経過）や回遊性等に課題があり、顧客ニーズに十分に答えられていないことから入込客数が伸び悩んでおり、道の駅の再整備により新たな観光・産業振興の拠点として町全体の活性化に貢献することが期待されている。

あきおた
【調査箇所：広島県安芸太田町】
位置図



観光入込客数と
道の駅利用者の推移
(千人)



(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）

- ・平成31年1月 道の駅「来夢とごうち」が重点「道の駅」に選定
- ・令和3年12月 一般社団法人地域商社あきおたが登録観光地域づくり法人の地域DMOに認定
- ・令和4年 3月 道の駅再整備基本計画策定（予定）

(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定

- ・（一社）地域商社あきおたが地域通貨を活用した観光客等の消費促進に係る取組を実施（令和8年度～）
- ・（一社）地域商社あきおたが新規散策ツアーを実施（令和8年度～）
- ・（一社）地域商社あきおたが顧客情報管理システムにより顧客動向の分析等を通して利用者ニーズを把握し、サービス向上やリニューアル等を検討（令和8年度～）

密接な
関連性

(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）

- ・ 散在する集客施設が連携した仕組みが乏しく、道路で分断されているため回遊性や安全性が損なわれている。
- ・ 行楽期を中心に道の駅進入時の車両滞留により国道191号で渋滞が発生し利用者の利便性が損なわれている。
- ・ 町内観光地の魅力を伝えるショールームとなる情報発信拠点が必要。

(4) 【調査内容】

- ① 道の駅（駐車場、休憩施設、情報発信施設、地域振興施設等）の再整備に関する需要調査
- ② 道の駅の再整備に係る概略設計
- ③ 道の駅の再整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

(5) 民間の活動と一体的に整備する効果

- ・ 観光DMOによる観光振興の取組が加速し、町内への誘客促進および消費拡大により、地域内経済の好循環をもたらす。



あるかぽーと地区における回遊性向上のための基盤整備検討調査

別添 2

地域の特徴等

- あるかぽーと地域は、関門海峡を臨むウォーターフロントエリアに位置し、世界有数の景観や、周辺に歴史、文化、食などを複合的に備え、市民や国内外からの観光客が集い、賑わう場としての活躍が期待されてきている。
- 当該地域周辺を、地域振興に資する「みなと」を核としたまちづくりの拠点とするため「みなとオアシス下関」として登録され、官民連携によるみなと振興の新たな拠点として期待されている。
- 下関港は、「国際旅客船拠点形成港湾」に指定されており、今後、さらなる大型クルーズ客船受入によるインバウンド増加が見込まれ、ウォーターフロントエリアを中心とした観光振興が期待されている。

しものせき
【調査箇所：山口県下関市】
位置図



- ### (1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）
- ・平成29年9月「みなとオアシス下関」登録
 - ・平成31年4月「国際旅客船拠点形成港湾」に指定
 - ・令和4年3月「海峡エリアビジョン」策定予定



- ### (2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定
- ・榊屋リゾートがリゾートホテルを開業（令和7年度～）
 - ・地域経済団体が賑わいイベントを開催（令和4年度～）
 - ・民間事業者による賑わい施設の設置（令和7年度～）
 - ・PPP/PFI事業者による新たな交通システムの運行・管理（令和7年度～）
 - ・Park-PFI事業者による飲食施設の設置（令和7年度～）

- ### (3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）
- ・各交流拠点間の人流動線が確立されていない
 - ・人流動線ルートに歩道がない区間がある
 - ・国内外からの観光客を回遊させる一体的な遊歩道が整備されていない
 - ・回遊性向上には、観光満足度を上げる仕組みとして、新たな交通システムの導入が必要である。
- 密接な
関連性

- ### (4) 【調査内容】
- ①遊歩道整備に係る基礎データの収集・需要調査
 - ②新たな交通システム導入に必要なステーション施設等の検討
 - ③①②の結果を基に遊歩道整備、ステーション施設等の概略設計及び整備効果の検討
 - ④ステーション施設等の整備・運営に係るPPP/PFI導入可能性検討

- ### (5) 民間の活動と一体的に整備する効果
- ・遊歩道整備により、一体的な人流動線の確立
 - ・新たな交通システム導入による回遊性・観光満足度の向上
 - ・観光客の入り込み数・観光産業の売り上げの増加

官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

事業概要

- 各地域の個性や強みを活かした特色ある成長を図るためには、民間の投資効果が最大限に引き出されるよう、民間の設備投資等と一体的に基盤整備を実施することが重要である。
- 官民が連携して実施する民間投資誘発効果の高い基盤整備や広域的な地域戦略に資する事業について、民間の意思決定のタイミングに合わせ、機を逸することなく基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑かつ速やかな移行を図るため、地方公共団体が行う事業化検討に対して調査費補助を行う。

事業内容

【配分先】地方公共団体(都道府県・市町村等)

【補助率】1/2

【募集・配分スケジュール】年3回配分(予定)

区分	募集期間	配分時期
第1回	1月25日～2月18日	4月26日
第2回	2月28日～4月15日	6月下旬
第3回	6月中旬～7月上旬	8月下旬

【支援内容】

民間事業活動と一体的に行うことにより、優れた効果の発現や効率性が期待できる国土交通省所管の基盤整備※の事業化に向けた検討経費を支援

<調査内容>

- ① 施設整備の内容に関する調査
(例) 基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等
- ② ①で調査した施設の整備・運営手法に関する調査
(例) PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFM算定等

※ 道路、海岸、河川、港湾、都市公園、市街地整備、空港等の公共土木施設

事業フロー

